



鎌倉市

鎌倉公方 ゆかりの地

神奈川県

鎌倉市



鎌倉市は自然の魅力とともに歴史や文化が重なり合っており、発展しているまちであり、また足利氏と歴史的に深いつながりを持っているまちでもあります。源頼朝と足利氏はともに清和源氏の流れをくみ、

下野国足利荘に本拠をおいた足利氏は、足利義兼の時代に鎌倉幕府の創建にあたり頼朝を助けた功績があります。政権が北条氏に移ってから足利氏は代々姻戚関係を結んで幕府の有力御家人として重きをなしました。全国に所領を多くもつ足利氏は、これを続ける家政機関を鎌倉において運営したといわれています。

室町幕府を開いた足利尊氏は、次子の基氏を鎌倉に下向させて関東公方を置き、関東10ヶ所の管領として統治されました。このことから、鎌倉市には尊氏以前の足利氏とともにそれ以後の足利氏とゆかりの深い史跡や寺々が数多くあります。

会員：鎌倉市、鎌倉商工会議所

浄妙寺、浄光明寺、

覚園寺

● 鎌倉商工会議所

<https://www.kamakura-ci.or.jp>



覚園寺



1218年(建保6年)に北条義時が建立した大倉薬師堂をもとに、1296年(永仁4年)に北条貞時が、元寇の再来がないように願い智海心慧律師を開山として建立し、真言・天台・禅・浄土の四宗を学べる道場となりました。現在の本堂薬師堂は、足利尊氏の力により再建され、足利氏祈願所として栄えました。今日でも棟札に尊氏公の願文が残されています。

■行事

- 8月10日 黒地藏施餓鬼会(黒地藏盆)



● 覚園寺 WEB ページ

<https://kamakura894do.com>

浄妙寺



1188年(文治4年)に足利義兼を開基、退耕行勇を開山として建立されました。初めは密教系の寺で極楽寺といましたが、臨済宗へ改宗後に浄妙寺となりました。境内奥には、足利貞氏の墓と伝えられている「明徳三年」と記された宝篋印塔があります。

■行事

- 6月15日 開山忌
- 8月2日 大施餓鬼会
- 10月第2土曜日 花供養

浄光明寺



1251年(建長3年)に北条時頼と長時によって諸宗兼学の道場として建立されました。もとは長時から始まる赤橋流北条氏の菩提寺でしたが、足利尊氏の妻が赤橋守時の妹であった縁から足利氏とも関係を深め、後醍醐天皇との対立前の足利尊氏も一時蟄居していた歴史があります。足利直義の守本尊と伝えられる地蔵菩薩像も残されています。

■行事

- 2月初午の日 初午祭
- 7月15日 大施餓鬼会
- 12月31日 除夜の鐘